

プログラム様式

田畑・園庭

プログラム名		妖精への贈り物	
対象年齢		年中（4～5歳）	
メッセージ		自然物にも違いがある事に気づこう。自然人も共存して生きている。	
ねらい		発見・体感できること ・協力して、考えたり、探したりする事の大切さに気づく。 ・自然物で遊ぶ楽しさを知る。	
参加者のめやす		幼児 25人 / 支援者 4人	
実施時間		30分	
フィールド			
実施可能時期			
自然を感じるためのヒント			
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ	
準備	森の妖精からの手紙 記号解読の紙を3セット用意しておく	<ul style="list-style-type: none"> 当日までに、森の妖精からの手紙を用意しておく。 当日、公園の入り口、子どもの目のつく所に置いておく。 記号解読の紙を手紙と同封する。 	
5分	①手紙をみんなで見る		
15分	②グループに分かれて記号解読をして探す	<ul style="list-style-type: none"> 危険のないように見守る。 1グループに1人保育者がついて見守ったり、援助したりする。 	
		<p>頑張って解くぞ！</p>	
20分	③集めた3種類の中から1つだけ持ちたいものを決めて、仲間集めゲームをする	<ul style="list-style-type: none"> 保育士が持ちたいもの以外を集める袋を用意し、集める。 	

年中

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
25分	④グラウンドに集まって、どうすれば森の妖精に自然物を届けられるか考える ⑤バルーンで自然物をとばして森の妖精に届ける	<p>・人数と広さを見て、状況によって一斉に楽しむか、グループごとに楽しむかを決める。</p>
	<p>妖精に届けよう！</p>	
	<p>公園にはどんなものがある？</p>	
	<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆保育室で積み木を使い、妖精の家を造ったり、紙などで服などを売ったりして普段している遊びを妖精に見立てる。 ◆暗号で遊ぶ。 ◆子ども達で暗号を考え、周りの物を探す。 ◆妖精の食べ物など周りにある物で見たてる。 ◆妖精は何を食べるかなど考えてみる。 	
	準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・森の妖精からの手紙 ・記号解読の紙 ・バルーン ・ビニール袋×3

↓
↓
↓
↓

